



栄小学校だより

令和6年6月4日（火）

No.8

○子どもの非認知能力を育むために

鈴鹿市では、令和6年度から、子どもたちの非認知能力を育む取り組みを進めています。偏差値やIQ等数値で表せる力を「認知能力」と呼び、テスト等では測れない、目に見えにくい力を「非認知能力」と呼びます。将来、子どもたちが社会に出て生きていくときに役立つ力を、今の段階で育てていきたいと思えます。

鈴鹿市では、主に4つの「非認知能力」を大切にします。

- | | |
|-------|--|
| やりぬく力 | …あきらめずに頑張れる。
→目標に向かってあきらめずに頑張ることができる力でテスト勉強や部活動、人生の目標を達成するときに役立ちます。 |
| 自制心 | …計画的に行動する。よくないことはがまんする。
→計画的に勉強したり、人間関係を築いたりするときに役立ちます。 |
| 自己肯定感 | …自分を大切に思える。自分には良いところがあると思える。
→自分に自信を持てたり、積極的に行動したりする力につながります。 |
| 社会性 | …困っている人を助ける。協力して活動する。
→誰かと一緒に勉強したり、クラスで協力して行事に取り組んだりするときに役立ちます。 |

○栄小学校では学習規律及び学習環境を大切にしています。

今年度が始まり早2か月が経ちました。子どもたちは明るく元気に学んでいます。栄小学校では、「確かな学力」を身につけるための授業づくりを目指して、その土台となる学習規律を大切にしています。

下記の主な取組をしっかりと守って授業に臨めることは小学校・中学校と続く様々な学習活動の中で大切なものとなります。また、しっかりと守れることで授業に集中でき、子どもの「学力向上」にもつながります。

- 授業では、「めあて」「ふりかえり」を明示し、児童が見通しを持って学習に取り組むことができるようにする。
- 「ピン・ピタ・グー」を合言葉に正しい姿勢を徹底する。
- 鉛筆の正しい持ち方
- 聞く姿勢(いすを前にしっかりひくことで姿勢がよくなります)、話す姿勢、声の大きさ
- 授業時の机上整頓
- 見やすいノートを使い方
- 箱型筆箱の使用、無地の下敷きの使用
- チャイムでの行動
- はじめと終わりのあいさつは、明るく元気に、きちんとした姿勢で行う。
- 挙手の時は腕をまっすぐに伸ばす。

○学習活動の様子



1年生：図書的时间



2年生：算数の時間



2年生：生活の時間



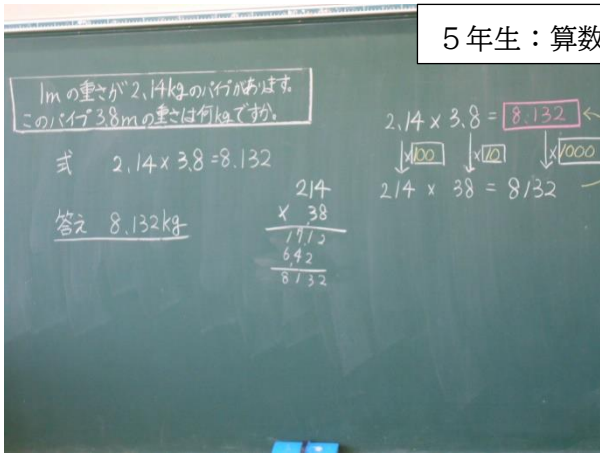
3年生：パソコンの時間



4年生：図工の時間



5年生：算数の時間、各自で練習問題に取り組んでいます。



6年生：調理実習、おいしそう！



6年生：調理実習



1・2年生、ひまわり学級：さつまいもの苗植え



○読み聞かせ (5/30 〔木〕)

【3年教室】 ボランティア：松澤さん

【図書館】 ボランティア：川村さん



○廊下や階段が児童の作品でいっぱいです。

